



季節のお手入れや豆知識をまとめた、ニュースレター

花粉がついちゃった！まず何をしたらいい？

ここ魚沼市は、新潟県最大のユリの産地！華やかで美しいユリは、夏の今が旬です。ユリが好きで、おうちに飾っているという方も多くでしょう。ユリを扱う時、気をつけていても花粉が付着してしまうことがありますよね。草木染めの材料としても使われるユリ花粉は、とても強い色素をもっているため、一度ついてしまうと頑固なしみになってしまうことも。上手に落とすための応急処置についてまとめてみました。

ユリ花粉が洋服についてしまった時、まず初めにすることは『**表面についた花粉を取り除くこと**』です。ティッシュなどを使って、こすらないように注意しながら花粉を払い落とします。粘着テープを使ってもよいですが、花粉が付着した部分で同じところを何度も触らないようにしましょう。丁寧に作業すると、この時点でほとんどの花粉を取り除くことができます。ユリ花粉の主成分は脂質類なので、残った花粉には『**油性の汚れを落とす作業**』が有効です。クレンジングオイルまたは食器用洗剤をつけて指先でしっかりとなじませ、水ですすぎます。付いたばかりの花粉なら、ここまでの作業でほぼきれいになります。(※水洗いできないもの、デリケートなもの、色柄ものは要注意！)

絶対にやってはいけないのが、花粉がついた状態で『濡らすこと』です。あわてて濡れたタオルなどで拭いたり、急いで洗おうと部分的に水で濡らしてしまいがちですが、水分がつくとにじんで広がり、色素が定着してしまうので NG です。アルコールで拭いた場合も同じように色素が定着してしまうため、こちらも NG。濡らさない！こすらない！揉まない！と覚えておきましょう。

ユリ花粉だけでなく、さまざまな汚れやしみが付いてしまった時、付いているものの成分によって『最適な応急処置』の方法が異なります。油分を含む汚れ(ファンデーション、口紅、ラーメンの汁など)の場合、濡らすことによって定着しやすいため、洗う前に『油性の汚れを落とす作業』を。血液の場合は、付いてすぐなら水だけで落とすことができます。どんなしみでもとにかく漂白！と、いきなり漂白剤を付けてしてしまう方もいるようですが、場合によってはしみが落ちない状態になってしまうため、注意が必要です。汚れやしみがついて家庭で応急処置をしたい場合、落ち着いて何をすべきか考えてみましょう。迷った時は、いつでもご相談ください。

できることをアドバイスさせていただきます。

あわてずに相談を！



営業案内 (赤い日は休み)

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12★
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

OPEN*9:00-CLOSE*19:00

★8月12日(土)は18:00 閉店となります
※休みや営業時間は変更になることがあります

お得なサマーセール！

ゆきんこポイント5倍

8月1日(火)~12日(土)は、ゆきんこポイントがなんと5倍に！出しそびれた冬物のお手入れなど、この期間がチャンスです。

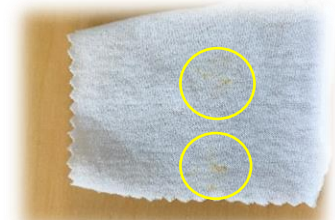
対象外…売掛請求分、期間外にお預かりした分の後払い

【価格改定のお知らせ】

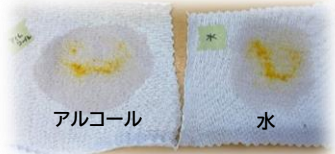
日頃よりご愛顧いただき、ありがとうございます。「当分は価格を変えずに頑張っていく」とお知らせしたのが昨年11月末でした。そこから約8か月、予想以上に外部環境の変化が大きく、このままでは店舗運営に影響が出てしまいそうな状況です。大変心苦しいのですが、**8月21日より一部の価格を改定**させていただきます。今後もみなさまにご満足いただけるよう、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、ご理解を賜りますよう、お願いいたします。



粘着テープでそっと取ると



ほとんど残りませんが



アルコール 水

濡れると、にじんで染まってしまう、家庭では落とすことが困難な状態になります

※この状態から乾かして油分を落とす作業をしても効果なし

New

この夏、「服と暮らしの研究室」というワークショップがスタート！第1弾はカレーのしみ抜き体験をテーマに7月30日(日)に開催します。今後、洗濯のお悩みやアイロンかけなどのテーマでも開催予定です。詳しくは、Instagram @hukutokurashi.lab で発信中。ぜひフォローしてください。